

令和7年3月21日

伊那市長 白 鳥 孝 様

伊那市議会 社会委員会

小 林 眞由美
高 橋 姿
池 上 謙
伊 藤 のり子
湯 澤 武
二 瓶 裕 史
柳 川 広 美

屋内の子どもの遊び場設置を求める提言

社会委員会では、所管事務調査として、以前より恒常的に市民からの声が上がっている「屋内の子どもの遊び場について」を取り上げ、市民と議会との意見交換会での意見聴取をはじめ、先進地への行政視察、市各所属部署に対する「屋内の子どもの遊び場にかかる使用可能スペース調査」、市内現地視察、政策サポーター（市民）への意見聴取等各種調査研究をしてまいりました。

市内には、屋内の子どもの遊び場が少ないことや、年齢制限があるために家族で過ごすことができない施設もあり、雨天時等に誰でも安心して過ごすことができる遊び場が求められています。市議会においても、令和6年3月定例会に提出された「伊那市における子育て環境の改善を求める請願」には、屋内型遊び場施設と遊びの内容や発達に合わせ家族で遊べる遊び場の検討を求める内容が挙げられ、全会一致で採択しました。

子どもの育ちに「遊び」は重要であり、年齢や発達、障がいの有無等に関係なく、事故や犯罪等のリスク対策がなされ、安全安心に過ごせる全天候型（雨・雪・猛暑等に対応）屋内遊び場は伊那市に必要と考えます。そして、子どもたち

が遊びを通して創造性や自発性を高めることができる遊び場や、年齢や遊びの内容によるスペースの分離、家族と一緒に過ごすことができる遊び場が望まれています。

以上のことから、下記事項のとおり適切な事業展開を講じられるよう提言いたします。

記

- 1 年齢に関わらず雨天時や猛暑時でも安全安心に家族で過ごすことができる屋内の子どもの遊び場を早期に設置すること。
- 2 屋内の子どもの遊び場整備にあたっては、以下の3項目を取り入れることを検討すること。
 - (1) 創造性や自発性等を育める伊那市の自然を生かした屋外遊び場と屋内遊び場の複合型施設
 - (2) 子どもに目が届き保護者や家族も快適に過ごせる休憩所等のある利用者ニーズに寄り添った施設
 - (3) 移住・定住にとって魅力的な施設として、地域産木材を使うなど自然資源等を生かした施設
- 3 屋内の遊び場の具体的な設置内容等について、子育て世代へのアンケート調査を実施し結果を取り入れることを検討すること。
- 4 市の財政負担を抑えるため、気の里ヘルスセンター等の既存施設の有効活用を検討すること。
- 5 新たな施設整備や施設改修等を行う際には、子育て世代からの意見聴取実施の検討、民間委託・民設民営も含めた最適な運営方法の検討を行うこと。